



2 災害地点・災害種別の決定

通報内容により、災害地点、災害種別、災害区分をタッチパネルや指令台のディスプレイをマウス操作し、決定します。



3 予告指令

119番の聞き取りを継続しながら、音声合成装置により自動的に予告指令を行います。予告指令により出陣隊は出陣準備を始めます。



4 出場車両の編成

災害場所、種別、規模に応じて最適な出陣部隊を自動的に編成します。



5 出場指令

出陣場所に音声合成装置により出場指令放送を行うとともに、指令書が指令伝送装置により出力されます。



緊急通報 119 火災・救急・救助
防災のテレホンサービス 048-551-9000
火災のテレホンサービス 048-551-0119

深谷市消防本部		
〒366-0029 埼玉県深谷市上敷免858番地 TEL 048-571-0119 FAX 048-571-5898		
深谷消防署	〒366-0029 埼玉県深谷市上敷免858番地	TEL 048-571-0916
藤沢分署	〒366-0811 埼玉県深谷市人見986番地	TEL 048-572-5752
豊里分署	〒366-0002 埼玉県深谷市下手計176番地1	TEL 048-587-3291
岡部分署	〒369-0201 埼玉県深谷市岡2394番地1	TEL 048-585-3950
上柴分署	〒366-0051 埼玉県深谷市上柴町東3丁目1番20	TEL 048-574-3311
花園消防署	〒369-1246 埼玉県深谷市小前田537番地	TEL 048-584-0119
川本分署	〒369-1108 埼玉県深谷市田中873番地9	TEL 048-583-2795
寄居分署	〒369-1203 埼玉県大里郡寄居町寄居983番地2	TEL 048-581-0119



深谷市消防本部

Fukaya City Fire Department

高機能消防指令システム 消防救急デジタル無線設備

119番通報からの流れ

119番通報



1 通報の受付

119番通報を受け付けると指令台のディスプレイに、通報者の住所情報や付近の地図情報を瞬時に表示させることが可能です。



7 出場車両運用管理

指令センター及び出陣車両間では、GPSで測位した位置情報や車両動態情報を車載情報端末によりリアルタイムで把握できます。

最新のシステムで
災害情報を迅速に処理
**消防救急活動を
総合的に
バックアップ**

6 出場車両への情報提供

各消防車両には車両運用端末装置が搭載されています。指令情報の受信により、災害詳細情報の表示や災害地点までのルート案内を行います。



安全・安心をより高めるために



通報受付から現場到着までの時間短縮
 統合型位置情報通知システム
 自動出動指定装置
 予告指令
 出動車両運用管理装置

高機能消防指令システムの特徴

- 現場活動支援強化**
 車両運用端末装置 (AVM) の導入
 防火対象物等支援情報のデータベース化
- 住民サービス**
 FAXによる119番受信
 メール119(事前登録制)
 災害情報テレホンガイド

災害状況等自動案内装置
 音声合成装置からの災害状況案内メッセージを自動録音し、住民からの災害の問い合わせに自動的に応答します。

高所監視カメラ
 市内2箇所に設置したカメラは災害が発生すると自動的にその方向に巡回し指令センターに画像を送ります。これにより災害状況の確認・把握をし、迅速かつ確かな災害対応に役立ちます。

現場映像伝送装置
 災害現場からライブ映像を指令センターに送信し、多目的表示盤に表示できるほか、消防本部でもリアルタイムに災害状況が確認できます。

119番FAX・メール119(事前登録制)
 音声による119番通報が困難な方が、ファックスやメールを利用して災害の発生を通報することができるサービスです。

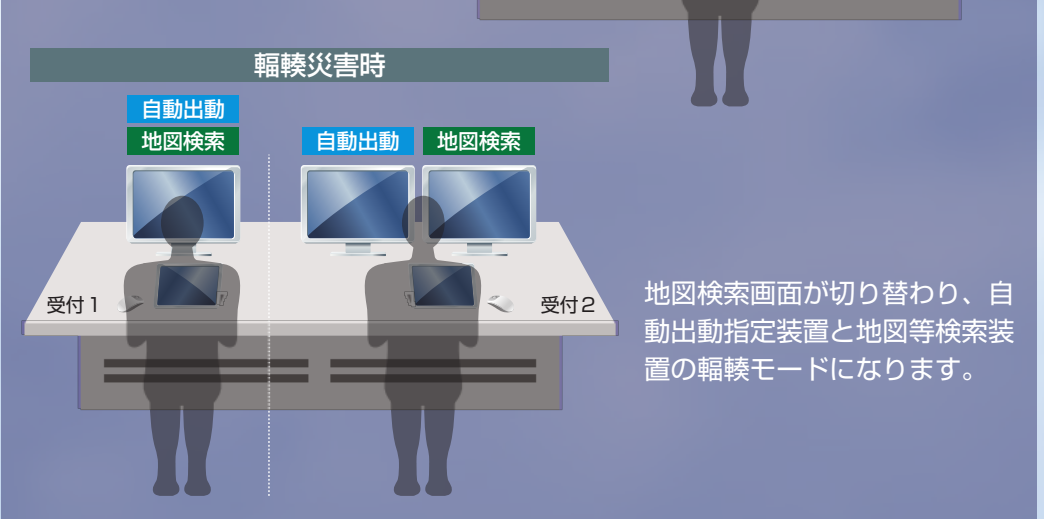
統合型位置情報通知システム
 固定電話、IP電話、携帯電話からの119番通報の場合には、発信位置、電話番号等を瞬時に表示することができ、迅速な災害地点の特定に役立ちます。

出動車両運用管理装置
 指令センターの管理装置と各車両の車両運用端末装置 (AVM) から構成され、各車両では災害地点地図、指令内容や各種支援情報を表示することができます。また、GPS機能を活用したリアルタイムでの車両位置情報や運用状況の把握により、災害に応じた最適な部隊編成を行うことができます。

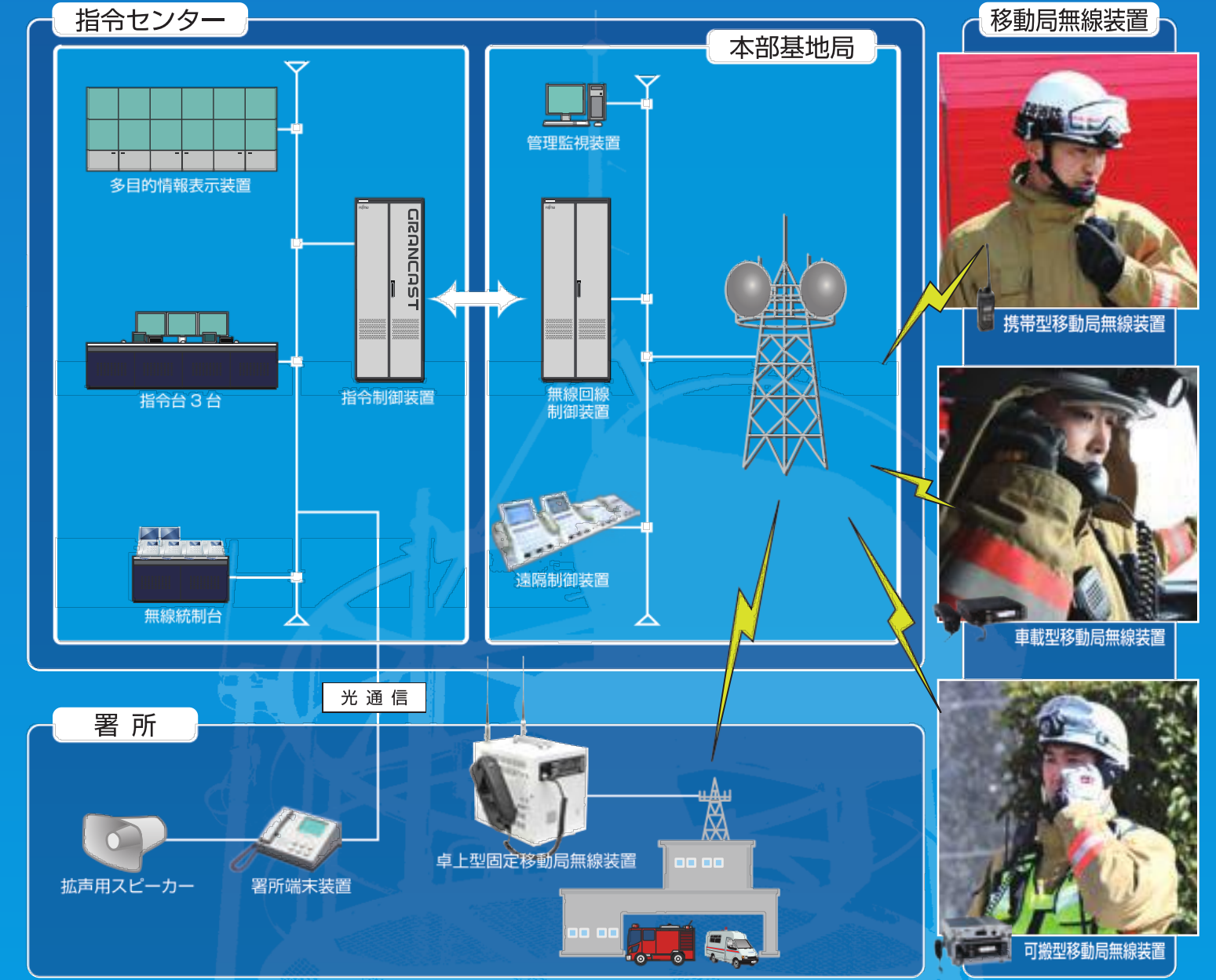
多目的情報表示装置
 自動出動・地図等検索・気象情報などの各装置の画像が表示でき、消防業務に役立ちます。

指令台

指令台のデータと支援情報システムのデータを連携させることで情報の共有化を図ります。さらに車載端末システム(車両運用端末装置)とのデータ連携も行い、災害時の消防力の強化を図ることができます。



消防・救急デジタル無線の運用イメージ



デジタル無線のメリット

- 管内の無線通信エリアが拡大するとともに、音声以外の文字情報等のデータ通信が可能となり、視覚による確実な情報伝達、確認が可能となった。
- デジタル化の移行により、大規模災害における広域応援時の通信手段確保が強化された。
- 電波方式がデジタル化されることにより、秘匿性が高まり、情報漏えいの防止が強化された。

無線統制台
 複数の周波数を収容し、消防車・救急車との無線交信を集中制御、統制する操作台です。

携帯型移動局無線装置
 出力5W機を導入、消防隊員・救急隊員が装備し、基地局又は移動局間で直接通信を行います。

可搬型移動局無線装置
 持ち運びが可能な無線装置で、災害現場で主に指揮隊が使用します。

車載型移動局無線装置
 出力10W機を導入、消防車・救急車に積載し、消防指令センターや他の移動局と無線交信します。

- 消防本部
- 消防署
- 無線基地局

